ブラジルのキャンプ誘致に係るホストタウン登録について（案）

【企画財政部企画課】

|  |
| --- |
| 〔結論〕　ブラジル選手団が立教大学で事前キャンプを行うことが内定となったことに伴い、立教大学、埼玉県及び新座市が連携して、今後交流事業等を進めていく。　また、内閣官房オリンピック・パラリンピック事務局にホストタウン登録をするための事務を進める。 |

○キャンプ誘致の経緯

　・H28.1　埼玉県がリオのプレ大会時に事前キャンプのプレゼンを実施

　・H28.5　ブラジルオリンピック委員会（BOC）が事前キャンプの視察を実施

　・H28.8　立教大学新座キャンパスで事前キャンプを行うとの打診あり

　・H28.9　県から新座市へブラジルのキャンプに関する情報提供あり

スポーツ振興にとどまらず、国際交流や青少年育成、地域活性化やシティプロモーションへの波及などが期待できるため、ホストタウン登録や交流事業の企画など、地元自治体としてＢＯＣの受入れに積極的に協力していく。

○ホストタウン登録する理由

　・ホストタウンに登録すると、選手との交流事業や競技施設の改修に係る費用等について、関係府省庁からの各種財政措置が受けられるほか、人材の派遣や情報提供等の支援を受けることができる。

○市の交流計画（案）※埼玉県及び立教大学との連携

　・選手と市内（県内）の住民、学生、児童生徒等との交流

　・市（県）イベントでのＰＲ、ブース出展

　・ブラジルオリンピアンによるスポーツ指導などの交流

○今後の事務スケジュール

　１０月２８日（金）までに計画書を提出（第三次登録）

　　→　１１月後半に内閣官房がホストタウン登録を公表

※　来年度もホストタウン登録の受け付けが行われる予定